

カバキコマチグモ

咬むクモ

ススキなどに普通に生息するクモです。大きな牙を持ち、咬まれると激しく痛みます。



卵を守る成虫
(ススキにつくった巣を開けたところ)



ススキの葉を折りたたんだ巣

春～秋
咬傷
激痛、腫れ

■ どんな虫？

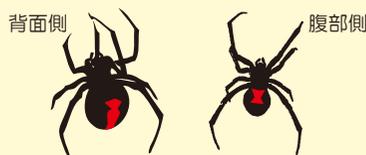
- ・ススキなどイネ科の雑草が繁茂する草むらに生息します。
- ・メスは葉をチマキ状に折りたたんで産室にし、この中で産卵し子育てをします。
- ・オスはメスを求めて歩き回り、時として室内に侵入し、寝具やはき物、洗たく物の中に潜むことがあるため、偶発的に咬まれることがあります。

■ 対策は…

- ・ススキなどイネ科の雑草を刈り取りましょう。
- ・草刈時に咬まれることがあるので、注意しましょう。
- ・オスが活発に活動する夏季には、網戸などを設置し侵入を防ぎましょう。
- ・巣をむやみに開けたり、いたずらをしないようにしましょう。
- ・咬まれると激しい痛みがあり、赤く腫れますので、医師の治療を受けましょう。

豆知識～セアカゴケグモ

特定外来生物に指定され、北海道では、平成27年6月、北見市で初めて発見されました。攻撃性はありませんが、触ると咬まれることがあります。



大きさ：オス 3～5mm、メス 10mm 程度
特徴：腹部背面に砂時計のような形をした赤色斑紋がある

ユキムシ (トドノネオオワタムシ)

不快な虫

初夏と晩秋に、体全体が綿で包まれたような虫が、屋外をフワフワ飛び回ることがあります。これは、アブラムシの仲間、人に危害を加えることはありません。

■ どんな虫？

- 春はモクセイ科の木、夏～秋はトドマツに発生します。
- 樹液を吸って生育します。
- 木で生活している時は羽がありません。
- 6月下旬～7月上旬、10月中下旬頃になると、羽と白い綿（ろう）が生えた虫体が現れ、木々の間を移動します。
- 人に危害を加えることはありません。



トドノネオオワタムシ

■ 対策は…

- 室内に入られないように、網戸を取り付けましょう。

豆知識～綿が生えない「ユキムシ」

ユキムシの仲間は、全て綿を持っているわけではありません。

ケヤキフシアブラムシは、ユキムシと同じように、ケヤキとササの樹液を吸って生育します。しばしば大量発生することがあり、視界が悪くなることもあります。



ケヤキフシアブラムシ



作業着に大量に付着した
ケヤキフシアブラムシ

ネズミ類

ネズミは不快感を与えるだけでなく、ノミやダニの発生源となったり、寄生虫や病原体を媒介したり、家具やケーブルをかじるなど、さまざまな害を及ぼします。

食品や電線をかじる
不快感、病原体の媒介

習性は？

- ・人の食べるものであればなんでもエサにします。
- ・警戒心が強く、学習能力が高い動物です。
- ・夜間に活動し、部屋のすみや物陰、壁に沿って行動します。

捕獲用具



粘着シート

対策は…

① 侵入させない

- ・建物の破損した場所やすき間を補修しましょう。
- ・通路となるような穴をふさいだり、網を取り付けるなどして、侵入を防ぎましょう。
- ・ドブネズミの侵入を受けた場合は、特に排水管の状態を確認してみましょう。

② エサを与えない

- ・食品は戸棚やふたつきの容器に収納しましょう。
- ・ごみステーションに出没することがあるので、ごみの出し方やごみ置き場の管理をしましょう。



生け捕りかご

③ 巣を作らせない

- ・巣材になる布や紙、ビニールを片付けましょう。

発生した時は

- ・ネズミの通り道やエサ場に、夜間、捕獲用具をしかけましょう。
- ・春と秋の繁殖期の前に駆除すると効果的です。
- ・警戒心が強いので、根気よく対応しましょう。
- ・駆除後のネズミの死体は、燃やせるごみと一緒に出すことができます。



捕殺器

ドブネズミ



フンの形状



- 【形態】
 - ・体長22～26cm。
 - ・尾は体長より短い。
 - ・耳は小さい。
 - ・フンは大きく、両端が丸い。
- 【生態】
 - ・行動場所：床下や台所など一階部分。
 - ・継ぎ目がはずれた排水管や建物の破損した場所から家屋に侵入します。
- 【駆除】
 - ・生け捕りかご、殺そ剤。

クマネズミ



- 【形態】
 - ・体長18～24cm。
 - ・尾は体長より長い。
 - ・耳は大きい。
 - ・フンは片方がとがっている。
- 【生態】
 - ・行動場所：天井裏や物置。
 - ・極めて警戒心が強く、身軽で管を上ったり、電線を伝ったりします。
 - ・ビルや家屋のすき間や破損した場所から侵入します。
- 【駆除】
 - ・粘着シート、殺そ剤、捕殺器。

ハツカネズミ



- 【形態】
 - ・体長6～10cm。
 - ・フンは小さく、両端がとがっている。
 - ・他種の子ネズミと間違われることがあります。
- 【生態】
 - ・行動場所：床下や一階部分、物置。
 - ・活動性は低く、あまり目立ちません。
- 【駆除】
 - ・粘着シート、殺そ剤、捕殺器。

(写真提供：ねずみ駆除協議会)